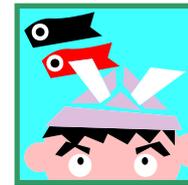


BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.31

<http://www.pref.chiba.lg.jp/svozoku/e/ichihai/bio/biotop.htm>



平成19年6月6日(水)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況等

○(株)アグリガイアシステム循環型飼料化施設竣工式

5月18日、佐倉第3工業団地にて(株)アグリガイアシステム循環型飼料化施設の竣工式が行われました。

この施設は、今まで利用されずに焼却されていたホテルやコンビニエンスストアなどから出る食品廃棄物を家畜の飼料として製品化する施設であり、年間約5万1千トン再生利用することができます。

また、製造過程において、分別システムに新技術を取り入れており、飼料に向かないものを堆肥化やメタン発酵によりエネルギー利用するものであり、今後、食品廃棄物の再生利用を推進する上で重要な技術的要素も含まれています。夏から本格稼働し、県内養豚業者へ供給する予定です。



(株)アグリガイアシステム飼料化施設

○(有)ブライトピック千葉液状飼料工場竣工式

5月13日、旭市にて(有)ブライトピック千葉液状飼料工場の竣工式が行われました。

ブライトピックは、千葉県香取市(旧山田町)の第一農場に平成13年からリキッドフィーディングシステム(液状飼料調整・給与システム)を導入し、余剰食品や食品製造副産物などを多用して大規模な養豚経営を行っています。

今後は、食品工場の余剰食品及び食品製造副産物並びに県内のコンビニエンスストアから排出される期限切れ食品を液状飼料化し、自社農場、関連農場の子豚1万頭、肉豚2万7千頭に供給する計画です。



(有)ブライトピック千葉液状飼料工場

○千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト

地域に賦存する木質バイオマス(被害材、林地残材、竹材、せん定枝など)を利活用する新たな用途開発研究の支援と地域資源循環モデルの創出を促進する「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」も4年目を迎えました。

今年度は、これまでの高機能木炭を生産し、その機能を活かした用途（商品）開発を共同研究してきた「高機能木炭部会」に加え、木質バイオマスのプラスチック化技術の導入による地域資源循環システムの構築に向けた共同研究を推進する「木質プラスチック部会」を立ち上げ、2部会制にしました。

5月18日に木質プラスチック、24日に高機能木炭の今年度第1回目の部会を開催し、今後の事業推進等について意見交換を行いました。



木質プラスチック部会

2. 普及啓発活動

○市町村勉強会

5月23日、県庁会議室にて市町村勉強会を開催しました。今回のテーマは「バイオマスタウン構想」で、24市町34名の参加がありました。

今年3月にタウン構想を公表した旭市、大多喜町から策定のアドバイス等を含めた講演、県から利活用交付金の説明を行った後、意見交換を行いました。



市町村勉強会



生涯大学校外房学園

○千葉県生涯大学校外房学園講義

5月23日、千葉県生涯大学校外房学園にて「バイオマス」をテーマとして講義を行いました。

参加された方々は、ゴミ問題やバイオマスに関心が高く、熱心に聴講されていました。

～イベント予告～

千葉県の姉妹州である、米国ウィスコンシン州との交流を推進している民間姉妹交流組織「千葉ウィスコンシン協会」の主催による「第2回ウィスコンシンフェスティバル」が開催されます。バイオマスプロジェクトチームも出展し、バイオマスの紹介をしますので皆様奮ってご来場ください。

- ・日時 平成19年6月9日（土） 14:30～16:30
- ・場所 プラザ菜の花 3階 スポーツホール
（JR本千葉 徒歩3分、モノレール 県庁前駅徒歩1分）
※入場無料・室内履きを御持参ください。
- ・お問い合わせ先 千葉ウィスコンシン協会事務局（県政策推進室内） 043-223-2436
千葉ウィスコンシン協会ホームページ <http://www.chiba-wisconsin.jp/>